

教科	科目	学年	単位数
地理歴史	日本史演習	3年	2
使用教科書		副教材	
日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）		『図説 日本史通覧』（帝国書院） 『日本史用語集』（山川出版社） 『日本史重要語句 Check List』（啓隆社）	

1. 学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ② 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 評価

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
日本史探究で学んだ知識を運用し、我が国の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に解決できる技能を身に付けている。	日本史探究で学んだことに基づいて我が国の歴史の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。	日本史探究で学んだことに基づいて我が国の歴史について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ただ単に問に解答するだけでなく、解説を十分に読み込んで、どこがポイントか、その問題に関連する項目は何か、などを理解し取り組んでいる。

* 年3回の定期テストでは、出題範囲に関する「知識・理解」「思考・判断・表現」の状況进行评估します。

3. 学習内容（以下の表参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

「日本史探究」の学習によって身に付けた知識・能力を基に、問題演習を行い、入試に対応できる能力を養う。過度な暗記学習に頼るのではなく、文字資料をはじめ、絵画・写真・地図、表などを用いた資料を基に考えるスキルを身に付ける。また、状況に応じて模試や定期試験対策なども行う。

学期	月	試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学 期	4	《定期試験》	1. 原始・古代の復習 入試問題演習	「日本史探究」の授業内容の総復習を行いながら、演習問題に触れ、知識を定着させる。 資料・図版を「読み取る」という学習を通して「理解力」や「読解力」、「思考力」を身に付ける。
	5		2. 中世の復習 入試問題演習	
	6		3. 近世の復習・演習 入試問題演習	
2 学 期	7	《中間試験》	1. 近代の演習 入試問題演習	すべての場面で、演習を含め、受験を意識した学習内容を盛り込む。 上記項目の理解を日本史演習の学習到達目標とする。
	8		2. 現代の演習 入試問題演習	
	9			
	10			
3 学 期	11	《期末試験》	1 テーマ史 2 共通テスト直前演習 3 私大・国公立大入試直前演習	
	12			